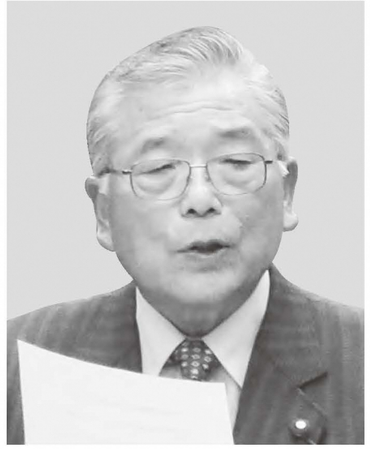
一般質問



門馬　巧 議員

新年度予算

編成の考え方は

町長／計画の完了を見据えて取り組む

門馬

当初予算案の中の投資的経費の占める割合が平均で25％に至っていたが、政治の要諦はバランスが大事である。

町民の日々の生活に資するインフラ整備・農商工等の育成振興を図り、雇用の確保、生活の安定向上に資するため、投資的経費に配意立脚した予算編成をと思うが、さらなる内容の充実を図る必要があると考えます。町長の見解は。

町長

新年度予算編成にあたっては、将来にわたり健全経営、確かな財政をふまえ、平成33年度の広野町復興計画の完了を見据えた事業執行を念頭に予算編成に取り組みます。

ピロリ菌除菌

子どもたちへの対応はいかに

町長／検査・除菌事業は実施しない

門馬

日本小児栄養消化器肝臓学会は、無症状の15歳以下の子どもに胃がん予防のための、ピロリ菌検査除菌をしないようにとの提案指針を公表したが、国立病院機構函館病院院長は、子どもの頃の感染が胃がんに繋がる等、なるべく早く対処した方が良いとしている。

体重30kg以上で検査・除菌は可能とされ、中学生であれば、自治体で対象者を捉えやすく効果的に対応できると話す。

一部自治体では、補助金を出していて、この機運が広がっているとの報道があった。

子ども達の健康管理・維持に資するため調査研究を是非にと求めます。

町長

日本小児栄養消化器肝臓学会は、ピロリ菌の除菌が、小児には科学的根拠がないと指摘してることから、15歳以下の子どもに対して、検査、除菌事業を実施する考えはありません。

風しん

町民に対する備えは大丈夫か

町長／正式な通知を待って適切に対応する

門馬

国内の風しん感染者が、2000人を超え、30から50歳代が多く、この年代は、定期接種の機会がなかったようです。

町民の不安払拭のため、公費で抗体検査をし、希望者に予防注射を実施する政策をとることはできませんか。

町長

厚生労働省は、現在39～56歳の男性を対象に、原則無料でワクチン接種を実施する方針を発表しました。

今後、国からの正式な通知を待って適切に対応していきます。

なお、本町では、妊娠を希望する女性および、その配偶者等に、風しん抗体検査、風しんワクチン接種の費用を全額助成しています。

一般質問

塩　史子 議員

桜田住宅

バリアフリー化の考えは

町長／課題が多く難しい状況

塩

桜田住宅は、5階建てにもかかわらず階段のみの昇り降りで、住民にとって非常に使いにくい住宅となっています。

そろそろ高齢者や子育て世帯など、誰でも使いかっての良い環境に変えていかなければと思いますが、

①入居率と入居者の年齢構成は。

②エレベーター設置等バリアフリー化の考えはありますか。

町長

①12月1日現在の入居率は83％で、年齢構成は、就学前のお子さんが18人、小学生が11人、中学生が2人、高校生が6人、19歳から30歳が26人、31歳から50歳が49人、51歳から64歳が14人、65歳以上が3人です。

②建物の構造は、一棟につき三つの階段で分断され、同じ階をつなぐ共通廊下部分がありません。

条例を制定し、適正に管理・運営するにおいては、課題が多く難しい現状です。

学校給食

地場農産物食材の復活は

教育長／保護者の理解をいただきながら取り組む

味よし！鮮度よし！地元野菜

塩

以前、学校給食では米やじゃがいも等、広野町産の食材が多く使われ、特に原発事故前の数年間は、地産地消を前面に推し進め、多くの食材が使われていた事実がありました。

広野町は気候に恵まれ、あらゆる農作物ができ、地元でとれた新鮮な食材での給食をと考えますが、

①教育長はどのような考えでいるのですか。

②福島県下で、給食に地元産食材を利用している学校は何校ですか。

③原発事故後、給食への地場産の食材利用について協議したことはあるのですか。

教育長

①地元の新鮮で生産者の顔が見える食材を提供することで、郷土への愛着を育み、農業と結びつけた教育実践を展開させ、食教育の充実を図っていきます。

②ほとんどの学校が地元産食材を使用しています。地元産を使用していない学校は、相双管内を中心とする8町村となっています。

③会津産米を使用する際も、学校給食共同調理場運営委員会で協議しました。

次年度に向け、学校給食の食材を引き続き協議し、保護者の理解をいただきながら、地元産への切り替えに取り組んでいきます。